
Cassina 創業 90 周年 2017 年ミラノ・サローネ先行情報

SOFT PROPS sofa by Konstantin Grcic

シンプルシティ、フレキシビリティ、インタラクションを統合し、コンテンポラリーなシナリオを創造。



モジュールサイズ：850×1100、850×1700

■ 建築的空間を定義するデザイン

2016年のミラノ・サローネで発表された、空間を仕切る建築的な家具【PROPS】に続き、コンスタンティン・グルッチは「使い手のニーズに合わせて空間の境界を定める」というコンセプトを発展させました。

フリースタANDINGで多目的な【SOFT PROPS (ソフト・プロップス)】は、様々な組み合わせが可能な2つのサイズのモジュール式シートから成っています。最も抽象的な要素であるオットマンや置き式の背クッションを自由にアレンジすることにより、空間に馴染む組み合わせと快適性が得られるよう考慮されています。

■ 革新のための伝統

カッシーナの伝統は、このデザインの進化を見れば明らかです。【SOFT PROPS】の周りに伸びる筒状のレールは、フランコ・アルビニとボブ・ノーダがデザインしたミラノの地下鉄の手すりや、1950年代にカッシーナが内装を請け負った大西洋横断の豪華客船内の手すりを想起させます。

グルッチは、空間の中に空間を定める境界線を生み出しながら、ソファの領域を明確にするレールを使用することで、この強い建築的要素を進化させました。

このレールは互換可能な4種類のパーツで構成されています。チューブの中に見えないジョイントシステムが隠されており、これによって数多の構成を可能にしています。意匠ならびに機能的観点から、レールの一部にはラバーグリップが巻き付けられています。

■ パブリックとプライベートを絶え間なく自由に行き来する

【SOFT PROPS】は使い手の要求によって変化します。ソファは家の中において重要な機能と中心的役割を持ち続けている一方、共用部におけるコミュニケーションスペースを創造するなど、パブリックなエリアに使用される家具でもあります。パブリックとプライベートのあいまいな境界線は解消し、もはや明確な区別はありません。

「空間的で、より抽象的。それでいて快適性において妥協しない、そういった家具を作りたかった。」 コンスタンティン・グルッチ

■ Cassina 9.0: 将来インテリアがどう進化していくかを探究する本

コンスタンティン・グルッチによる、建築的文脈における家具のあくなき追究は、カッシーナに依頼された壮大な研究の一部であり、このたびカッシーナの創業90周年を記念し発刊される書籍「This will be the Place.」でも紹介されています。サローネの期間、この書籍はFondazione Giangiacomo Feltrinelliにおいてアート・ディレクターのパトリア・ウルキオラによる革新的なインスタレーションとともに披露されます。



Konstantin Grcic (コンスタンティン・グルッチ)
1965年ドイツ・ミュンヘン生まれ。1985～1987年イギリスの木工職人の学校でキャビネット製作を学び、1988～1990年ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートでインダストリアル・デザインの修士号を取得。1990～1991年ジャスパー・モリソンのもとで働き、1991年ミュンヘンで自身の事務所を設立。以来、様々なデザイン界のリーディング・ブランドから家具や照明などの製品を発表している。2007年メゾン・エ・オブジェ デザイナー・オブ・ザ・イヤーやコンパッソ・ドーロ賞を三度受賞するなど、数々の受賞歴を有する。

■ イベントのご案内

“Cassina 9.0”

【会場】

※本年は創業 90 周年記念イベントのため、Cassina はフィエラ会場には出展いたしません。

① Cassina 90th Anniversary Exhibition “This will be the Place.” 4/4 ~ 9
Place:Fondazione Giangiacomo Feltrinelli
Address:viale Pasubio, 5 / Porta Garibaldi

※ 90 周年記念書籍の発刊を記念したパトリシア・ウルキオラによる特別インスタレーション
※ 建築はヘルツォーク&ド・ムーロンによるもので昨年 12 月にオープン

② 2017 New collection 4/3 ~ 9 10:00-21:00
Place:Cassina showroom
Address:via Durini, 16 / San Babila

※ 市内ショールームでは、2017 年の新作を発表